

事例概要

氏名：町田時子 昭和6年5月10日生 84歳 女性

住所：東京都町田市1-2-3

診断名：アルツハイマー型認知症、高脂血症、変形性膝関節症

住環境：戸建、閑静な住宅地。玄関まで8段の階段有り。屋内は手摺り有り。

家族状況：長女（58歳）と二人暮らし。長女は就労しており日中独居。長女は受診、調理、掃除、洗濯、買い物など家事全般、身の回りの支援をしている。

生活歴：神奈川県で出生、3人兄弟の末っ子。25歳で結婚、一女をもうける。夫は会社員で定年まで勤めた。趣味は裁縫や編み物など手仕事が好きでいろいろなものを趣味で作っていた。本を読むのも好きで、歴史小説が好きだったようです。相撲が好きでテレビ観戦を楽しみにしていた。夫は定年後、Tさんとガーデニングや旅行を楽しんでいたが10年前に他界。夫亡き後は散歩、ガーデニングや家事をしてきました。長年主婦として家事一切を切り盛りしてきたことが誇りです。5年前から鍋を焦がしたり、家事ができなくなり認知症が見られるようになった。長女は就労しているので介護認定を申請、要介護1と認定され、デイサービスを週3回、訪問介護を週2回利用している。

ADL

起き上り：ベッドの柵につかまって起き上がる。立ち上がるもベッドの柵使用。
立ち上がり時ふらつきがある

歩行：近くにある物につかまることがあるがほぼ自立歩行、屋外は一部介助、場合によっては車いす

排泄：自立しているが週に1回程度流し忘れがある

更衣：準備しておけば着ることができるが月に2~3回声かけが必要。ときどき着方がわからない、ボタンの掛け違いがある

入浴：髪、背中など介助。浴槽出入り足のふらつきがある

移乗：見守り。車への昇降は声かけ

食事：ほぼ自立、週に2~3回は見守り

IADL：買い物、調理、掃除は見当識障害でできない。以前鍋焦がしがあつた。洗濯たたみは声をかければでき自信を持っている。外出はひとりではできないが娘と月に1~2回スーパーや喫茶店に行く。以前は家事全般をきちんとしていたが現在はやろうともしない。料理は得意だったが今は興味がない様子。

健康管理：食事は少量で好き嫌いがあり魚は練り物・エビのてんぷらだけ。甘いお菓子が好きでよく食べている。食事や飲水は声をかけないと食べない。咀嚼・嚥下は支障ない。歯は義歯で口腔ケアは声かけが必要。以前はおしゃれでパーマやお化粧品をしていた、洗顔や整髪は声かけ。皮膚疾患はない。爪切りはデイサービス・娘が行う。服薬は手渡し。

コミュニケーション：

視力・聴力は支障ない。意思表示はできるが、その場の雰囲気ですいている感じ。以前はかなり理屈を言っていた。何かを言っても理解せずに言われたことができるところだけ。昔の話はよく話す。お稽古ごとや子供のころ、子育ての話など。テレビも自分でチャンネルを回すのではなく、ついているのを見ている。

認知と行動：時計は読めるが時間で何をすればよいかは理解できない。何度も「今何時か」と聞く。起床・就寝も言わないとわからない、日常生活全般へ声かけ・見守りが必要。介護拒否や暴言はないが、自分が何をすればよいかは理解できていない。電話がかかってくると出てしまい、娘が出なくてもよいといっても受話器をとってしまう。同様訪問者が来ると出てしまう。

家族の介護：娘は就労しているができることは協力している。介護が継続できるよう介護負担の軽減が必要、ショートステイの利用は現在では考えていない。介護者が一人なので自身の健康管理に気を使っているが、介護の継続につて不安を持っている。認知症で見当識障害があるので日常行為に声かけ見守りが必要

社会交流：デイサービス利用で他の人と交流している。趣味はガーデニング、読書、編み物、三味線など。夫の定年後も室内に小花を生けることや歴史小説が好きで夫と旅行によく行っていた。足腰を鍛えるといつて二人で近所を散歩していた。お墓参りや季節の行事は欠かさず行っていた。